

磐城時報

福島縣石城郡平町福屋町十四
印刷所 加納活版所
電話 二四八
發行所 磐城時報社
電話 二四八
廣告料 一行十四字 日金五十銭
印刷料 一行十四字 日金五十銭
休刊日 祭日 休刊

縣から眺まれぬやうに 幾分削減を行ふ

小學校教員初任給の減額内申 石城町村長會の申合せ

石城郡町村長會は二日開いた事
昨報の如くで午前中は開會劈頭
小川村長國井義氏が提唱した實
行豫算削減反對の意見に賛成者
多く緊縮内閣の方針彈劾の議論
に花が咲き賑やかな場面を演出
したが、平、四倉、小名濱、豊
間、湯本町その他縣補助を仰が
ねばならぬ各種事業を有する町
村では縣から眺まれては仕事
やり難いといふ理由と、又削減
を行はなければ縣吏員が町村に
出張し實地について會計検査を
行つた上削減せしめるといふの
で、さうなつてはさうさう困
るといふ二つの理由で、長いも
のには卷かれろ主義により縣當
局の態度に應じ幾分でも削減を
行ふ方針をとり、事となり左の如
き申し合せを午後五時散會
した。

二百十日後に調査した 石城地方の稻作

天候順調なれば豊作 神谷農事試験場發表

石城地方に於ける本年の稻作は
(九月一日)の發育状況左の如し
本年 平 年
草丈 莖數 草丈 莖數
▲早生 四尺六寸 二七三 三三〇 二一〇
▲中生 三尺五寸 二四〇 三三〇 二一〇
▲晩生 三尺二寸 二五三 三三〇 二一〇
生種は八月十六日、中生種は二
十三日、晩生種は二十七日出穂
全く揃つた。草丈は三種共例年
より伸長増加したが分蘗は早生
種良く中晩共減じたが之は主
して螟虫の害をうけたためであ
る。一般より見れば成績よく今後天候
順調であれば平年作より遙かに
良成績を納め得る見込である。

協議決定事項

一、昭和四年度實行豫算に就て
は縣訓令の趣旨に依り努めて
整理緊縮の方途を講じ其町村
の實況に應じ實行豫算を立つ
る事。
一、前項豫算を立つるに當り俸
給、賞與等の人員費を減する
ことは之を避くる事。
一、實行豫算は事業の性質に依
り神谷試験場を調査した二百十日

平署移廳式

來る十日前後

中警察署の移廳は來る十日前後
に行ふ事になつたが、管内各町
村に對當てた寄附は全部纏つた
ので荒井署長は二日平町に開か
れた町村長會議に於てその旨披
抄する處があつた。

荒井署長出福

平署

警察署長荒井市太郎氏は四日、五
日兩日開かる、警察署長會議に
出席のため三日午前十一時發平
列車で出福した。

平職業紹介所

八月中の成績

平職業紹介所八月中の求人ハ男
女合せて三千四名、求職者は五
十一名、内就職したものは三十
名も出來ず果して何時になつた
實現するや見當がつかない状
である。

縣參一行の歓迎で 鷲町長批難さる

緊縮を口實にし乍ら 本末顛倒の行爲

石城郡植田町では縣參事會員一
行が警察署會計検査のため二日
來町したのを好機に鷲町長等發
起人となり鮫川の鮎漁から山田
屋で官民合同の歓迎會を開き縣
參連の御機嫌を取つたが、同町
では町の盛衰に關する重大問題
を痛撃してゐる。

豊間漁港修築は 本年は望みがない

知事からその旨言明されて 豊間村で運動を中止

豊間村では同村築港修築のため
豊間村に亘り絶えず運動を續け
て經費をかけるよりは確かな方
針を聽いて見やうといふ事にな
り豊間村長志賀兼吉氏は村會議
員數名と共に一日福島縣廳を訪
ひ小柳知事並に金森内務部長に
面會して實現の可能性ありや否
やを聞いた處、本年は到底見込
みがないからあきらめた方がよ
からうといふ事で一同は歸村し
たが、時期が到來するまで運動
を見合はす事になつた。

出福陳情

團休事務所移轉で 平町長伏見彦衛氏は平町元石城 郡役所に在る各種團休事務所移 して散會した。

横暴な乗合自動車

當局にも多少責任がある

無暗やたらに乗合自動車を許
可したため、料金の競争から
速力の競争となり、衝突、追
突、勝手放題な危険行爲をや
り、直接入口制限の實を擧ぐ
るに努力してゐる平町のやう
なのがあると思へば

一人前の運轉手が、運轉して
さい真直には動きさうもない
ポロ自動車は、御町等にも無
免許氏が運轉して、八百屋の
店先をたたきこはすやうな自
動車屋もある。

第一乗合の定員といふ奴が頗
る怪しい、五人乗のところに
十人位を詰詰にし、その上車
体の外にハミ出して乗つてゐ
るなどは立派な取締違反だ
と思ふが、この縣下ではお目こ
ぼしになつて居るらしい。

お目こぼしは自動車屋にとつ
ては都合も知れぬが、斯
ういふ無理な真似を、念入り
のポロ自動車ややるため頻々
と途中で故障が起る、パン
ク位の生やさしいのではない
テコでも動かぬエンジン自動車
がでさあがる。

乗客は豫定の時間にまにあは
ぬ位は諦めるとして、時と場
合によつては何里といふ道を
歩かせられる、女子供に荷物
ツツかないことが随分ある、
そんな場合の毒だとも思
ふのならば、はらひ、此所
までの料金何程を拂つて、あ
んな歩いてくれと酒蛙々々し
らんなものか。

大浦農倉共販

郡大浦農業倉庫一日の販賣値段
は左の如く東京市場に比し一俵
約一圓の高値を唱へてゐた。
▲四等十一圓十五銭 ▲三等十
一圓四十三銭 ▲二等十一圓六
十三銭

三郷會の例會

石城
郡上遠野、入遠野、田人三村の
磐城中学校卒業業者よりなる三郷
會では夏休中例會を廿九日上遠
野小学校に開催し會長樋口幸右
衛門、福會長鈴木龜之助兩氏の
挨拶ありそれより種々協議をな
して散會した。

